

2023年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年12月15日

上場会社名 株式会社一寸房 上場取引所 東
 コード番号 7355 URL http://https://issun.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)上山 哲正
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)加藤 力 (TEL)011(215)0061
 四半期報告書提出予定日 2022年12月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年7月期第1四半期の連結業績(2022年8月1日~2022年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年7月期第1四半期	275	20.2	△11	—	△10	—	△8	—
2022年7月期第1四半期	229	—	9	—	13	—	9	—

(注) 包括利益 2023年7月期第1四半期 △8百万円(—%) 2022年7月期第1四半期 10百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年7月期第1四半期	△3.65	—
2022年7月期第1四半期	4.49	4.46

(注) 2023年7月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年7月期第1四半期	666	89	13.4
2022年7月期	607	97	16.0

(参考) 自己資本 2023年7月期第1四半期 88百万円 2022年7月期 97百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年7月期	—				
2023年7月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年7月期の連結業績予想(2022年8月1日~2023年7月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,374	15.1	82	29.9	80	12.7	58	7.9	25.71

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年7月期1Q	2,281,100株	2022年7月期	2,281,100株
2023年7月期1Q	一株	2022年7月期	一株
2023年7月期1Q	2,281,100株	2022年7月期1Q	2,197,300株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、決算短信（添付資料）3ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種感染予防対策等により、新型コロナウイルス感染症の影響は緩やかではあるものの景気の回復が期待される傾向も見られました。一方で、ウクライナ情勢等の地政学的リスクにより原材料価格の高騰が懸念されるなど、経済社会活動の回復は依然として不透明な状況となっております。

当社グループの主要取引先である建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移し、民間企業の建設投資についても徐々に持ち直しの傾向が見受けられるものの、建設資材価格の高騰等の影響もあり、今後も建設需要やニーズの変化に対してより一層注視が必要な状況が続いております。

このような経済環境の中で、当社グループは、DX（デジタルトランスフォーメーション）への取り組みを加速させるため、BIMやCIMといった3次元設計技術の体制強化及び最新デジタルコンテンツ技術（CG、VR、AR、3次元測量など）の導入を積極的に行い、設計図面データとデジタルコンテンツ技術を融合させたビジネスモデルの付加価値向上を図ってまいりました。継続的に人材採用や技術者育成に注力し、建設設計に関わるワンストップサービス（意匠設計、構造設計、施工設計、測量設計）の充実と企業価値の向上を目指します。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は275,469千円（前年同期比20.2%増）、営業損失は11,429千円（前年同期は営業利益9,010千円）、経常損失は10,759千円（同経常利益13,396千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,322千円（同親会社株主に帰属する四半期純利益9,869千円）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は、以下のとおりであります。

①設計ソリューション事業

設計ソリューション事業の売上高は211,753千円（前年同期比14.3%増）、セグメント利益は44,681千円（同3.2%増）となりました。

②測量事業

測量事業の売上高は35,841千円（前年同期比117.7%増）、セグメント利益は9,824千円（同374.5%増）となりました。

③派遣事業

派遣事業の売上高は27,874千円（前年同期比1.1%増）、セグメント利益は6,767千円（同16.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は560,175千円となり、前連結会計年度末と比べ57,979千円増加（前連結会計年度末比11.5%増）いたしました。これは主に、棚卸資産が43,228千円、現金及び預金が14,614千円増加したことによるものであります。固定資産は105,859千円となり、前連結会計年度末と比べ980千円増加（同0.9%増）いたしました。これは主に、投資その他の資産が4,219千円増加した一方で、無形固定資産が2,809千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は666,035千円となり、前連結会計年度末と比べ58,960千円増加（同9.7%増）いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は302,570千円となり、前連結会計年度末と比べ7,677千円増加（前連結会計年度末比2.6%増）いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が16,078千円、賞与引当金が21,002千円、受注損失引当金が10,580千円増加した一方で、未払費用が7,634千円、未払法人税等8,828千円、その他が21,592千円減少したことによるものであります。固定負債は273,928千円となり、前連結会計年度末と比べ59,638千円増加（同27.8%増）いたしました。これは主に、長期借入金が59,957千円増加したことによる

ものであります。

この結果、負債合計は576,499千円となり、前連結会計年度末と比べ67,315千円増加(同13.2%増)いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は89,535千円となり、前連結会計年度末と比べ8,354千円減少(前連結会計年度末比8.5%減)いたしました。これは主に、利益剰余金が8,322千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は13.4%(前連結会計年度末は16.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年7月期の連結業績予想につきましては、2022年9月14日付「2023年7月期決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

今後、業績予想を修正する必要がある場合は、速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	261,661	276,276
受取手形、売掛金及び契約資産	136,885	132,670
棚卸資産	77,761	120,990
その他	26,292	33,437
貸倒引当金	△406	△3,199
流動資産合計	502,196	560,175
固定資産		
有形固定資産	34,610	34,181
無形固定資産	29,093	26,283
投資その他の資産	41,174	45,394
固定資産合計	104,878	105,859
資産合計	607,075	666,035

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,925	998
1年内返済予定の長期借入金	86,367	102,445
未払費用	83,164	75,529
未払法人税等	9,841	1,013
賞与引当金	13,581	34,583
受注損失引当金	15,788	26,369
その他	83,224	61,631
流動負債合計	294,893	302,570
固定負債		
長期借入金	196,386	256,343
資産除去債務	12,996	13,004
その他	4,908	4,581
固定負債合計	214,290	273,928
負債合計	509,184	576,499
純資産の部		
株主資本		
資本金	94,031	94,031
資本剰余金	38,457	38,457
利益剰余金	△35,288	△43,611
株主資本合計	97,200	88,878
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	139	107
その他の包括利益累計額合計	139	107
新株予約権	550	550
純資産合計	97,890	89,535
負債純資産合計	607,075	666,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)
売上高	229,241	275,469
売上原価	153,930	194,354
売上総利益	75,310	81,114
販売費及び一般管理費	66,300	92,544
営業利益又は営業損失(△)	9,010	△11,429
営業外収益		
受取利息	—	22
受取手数料	1,743	—
補助金収入	3,654	1,768
その他	197	124
営業外収益合計	5,595	1,915
営業外費用		
支払利息	900	783
為替差損	309	84
その他	—	377
営業外費用合計	1,210	1,245
経常利益又は経常損失(△)	13,396	△10,759
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	13,396	△10,759
法人税等	3,526	△2,437
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,869	△8,322
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	9,869	△8,322

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	9,869	△8,322
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	132	△32
その他の包括利益合計	132	△32
四半期包括利益	10,002	△8,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,002	△8,354

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)

株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更)

税金費用の計算方法の変更

従来、税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、当該会計方針の変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(自 2021年8月1日 至 2021年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	設計ソリューション 事業	測量事業	派遣事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	185,195	16,462	27,584	229,241	—	229,241
外部顧客への売上高	185,195	16,462	27,584	229,241	—	229,241
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,154	—	1,154	△1,154	—
計	185,195	17,616	27,584	230,395	△1,154	229,241
セグメント利益	43,303	2,070	5,815	51,189	△42,178	9,010

(注) 1. セグメント利益の調整額△42,178千円には、セグメント間取引消去2,350千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△44,528千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年8月1日 至 2022年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注2)
	設計ソリューション 事業	測量事業	派遣事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	211,753	35,841	27,874	275,469	—	275,469
外部顧客への売上高	211,753	35,841	27,874	275,469	—	275,469
セグメント間の内部 売上高又は振替高	480	—	—	480	△480	—
計	212,233	35,841	27,874	275,949	△480	275,469
セグメント利益又は 損失(△)	44,681	9,824	6,767	61,273	△72,702	△11,429

(注) 1. セグメント利益の調整額△72,702千円には、セグメント間取引消去△124千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△72,578千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

当社は、2022年12月15日開催の取締役会において、今後の事業拡大に向けた運転資金等への充当及び財務基盤の安定性向上を目的として、以下のとおり資金の借入を行うことを決議いたしました。

(1) 借入先	株式会社青森銀行
(2) 借入金額	50,000千円
(3) 借入実行日	2022年12月16日
(4) 返済方法	元金均等
(5) 借入金利	固定1.50%
(6) 担保の有無	無